

第 861 回 例 会

2年11月27日

本日のプログラム

- ・ソング 「故郷の空」
- ・卓話 第19回ロータリーXmas について
社会奉仕委員会 辻田 知史 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」

次回(12月4日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 第19回ロータリーXmas について
社会奉仕委員会 辻田 知史 委員長
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 4階「平安の間」
- ・第6回理事会 13:40～ 4階「桃山の間」

12月の例会予定

- ◎4日 ロータリーXmasについて(社会奉仕委員会)
- ◎11日 通常例会(地区大会の為の移動例会は中止)
- ◎18日 卓話 池山会員 / 年次総会
- ◎25日 休会(年末)

先週(11月20日)の例会報告

■会長の時間

【神田祭】

神田祭は東京都千代田区の神社、神田明神の祭りです。京都の祇園祭、大坂の天神祭とともに日本三大祭の一つとされています。神田祭には奇数年に開催される「本祭り」と偶数年に行われる「陰祭り」の二つがあります。一般的に神田祭というと賑やかな本祭りを指します。

別名「天下祭」とも呼ばれる神田祭。その由縁は徳川幕府を開いた徳川家康にあります。他の武将との戦いの前には、必ず家来に戦勝祈願のために神田明神を行かせたようです。その後、家康は天下統一を果たし、神田明神に感謝して立派な社殿や神輿を寄進しました。そのおかげで神田祭は現在のような盛大なものになったと言われています。

何故、家康が戦勝祈願に神田明神を選んだのかというと、神田明神が平将門ゆかりの神社であるという理由からだそうです。平将門は平安時代、朝廷に逆らった関東の武将で、若いころから武勇に長けて、負け知らずの強者であったと伝えられています。

神田祭は、神幸祭から始まります。だいこく様を祭った「一宮鳳輦」、えびす様を祭った「二宮神輿」、平将門を祭った「三宮鳳輦」が、町々を回り祓い清めます。後に続くダンジリを曳く一団は「付け祭り」と呼ばれています。また、氏子さんなど町衆が曳く山車は1番から30番以上の数にのぼり、1000名以上の人たちが行列に参加すると言われています。

祇園祭も天神祭りも経験しているので、残りの三大祭りの一つ、神田祭も一度は見に行きたいと思います。

【来客紹介】 1名

【出席報告】

| 2年11月20日(第860回例会) | | | | |
|-------------------|--------|------|------|--------|
| 会員総数 | 出席免除会員 | 出席会員 | 欠席会員 | 出席率 |
| 38名 | 1名 | 27名 | 10名 | 72.97% |

【幹事報告】

【メール送信】 1)地区国際奉仕委員会NewsLetter 第2号 ⇒ 11/17 配信(再送)

【回覧資料】 1)海の子学園広報紙「うみっこ35号」

ニコニコ箱(11月20日)

秋山 千尋 =益々拡大するコロナ感染対策で生活様式や会社経営も随分と変わりましたが、会員の皆様方はどうされてますか？

福島 三雄 =久徳様のお話、楽しみに聞かせて頂きます。

花谷 尚嗣 =昨日、演劇「獣道一直線」観て来ました！ 元気もらいました。

北條 陽子 =久徳さん、卓話楽しみにしております。

井上 清司 =欠席、申し訳ありません。

川上 大雄 =先週、東北 福島方面に行ってきました。 今年は紅葉がすごいですよ。

小林 知義 =皆さんが楽しみにしていたロータリークリスマスが、残念ながらできなくなりました。

別の方法で、クリスマス祝ってあげたいと思います。 ご協力、よろしく願います。

森本 良嗣 =久徳様、本日はお忙しいところを有難うございます。本日の「日本の武道の一つ 弓道」慎んで拝聴させていただきます。

中井 周治 =昨日は、天満橋RACの見学に行ってきました。 会長候補のスピーチがあり、候補者5名がやる気満々のスピーチをされていました。 大変、活気のある例会でした。 RACの会長さんは来年からロータリアンになるとおっしゃっています。

した。久徳様、本日の弓道の卓話を楽しみにしています。よろしく願いいたします。

大屋 準一 =コロナ感染者が増えています。皆様、ご注意ください。

森本さんの卓話ですが、ゲストスピーカーの久徳さんのお話を楽しみにしています。

高野 幸雄 =コロナ感染者が急増しています。経済に影響しない事を祈ります。

龍岡 恵子 =本日は欠席させて頂くので、辻田さんに代理でニコニコの担当をして頂きました。辻田さん、ありがとうございます。

辻田 知史 =先日、ロータリーゴルフ同好会が三田レークゴルフ倶楽部でありました。同じ組でプレーさせて頂いた樋上さんが優勝されました。おめでとうございます。私はドライバーチップスが再発してしまい、100以上打いて池山さんと樋上さんの足ばかり引張っていましたが、その中での優勝はすばらしいと思います。次回の同好会でまた頑張ります。ゲストスピーカー久徳さま、弓道のお話 楽しみにしております。よろしく願いします。

| | | | |
|---------|-------|------------|----------------|
| 【SAA報告】 | ニコニコ箱 | 本日計 15000円 | 今年度合計 5498076円 |
|---------|-------|------------|----------------|

卓話(11月20日)

「日本の武道の一つ 弓道」 ゲストスピーカー 久徳 健三 氏 (森本 良嗣 会員 ご紹介)

射法とは、弓を引く初めの一歩

●弓矢で射を行う場合の射術の基本ルール(射法八節) 射法の一連動作

8つの動作は区分されていますが、終始関連して一つの流れを作り、動作と動作の間が分離・断絶してはなりません。

一射を一本の竹に例えると、竹に8つの節(ふし)があるのと同じこと。つまり、8つの節は相互に関連する一本の竹でありながら、一節(ひとふし)ごとに異なった8つの節であることを意識することが大切なのです。

●世界の弓、日本の弓:旧石器時代末期から

手の届かない所を走る、あるいは飛ぶ動物を捕らえて食べるための知恵の形として、世界中で弓は誕生し、旧石器時代末期には中近東アジア地方の民族により使用されていました。日本でも、石器時代末の製作といわれる銅鐸に描かれた狩猟の絵に、下部に「握り」がある長弓が発見されています。これは、弥生式土器を使った時代と推定され、黒塗りの丸木弓の長弓に樺で隔巻をしてありました。日本人が長弓を使っていたことは、中国の魏志倭人伝(3世紀前半)にも記録があります。古事記などの思想的、文化的な視点から、弓矢が威儀を示す行装として重い位置を占めていたと考えられ、後に宮中や武家の行事に弓矢の儀式が重視されるようになる要因ともいえるでしょう。

●一人でも楽しめる「弓道」

弓道は他の競技と多少異なり、「人」でなく、「的」を相手にする武道・スポーツです。そこには、一人でも楽しむことができる世界が広がっています。素朴で親しみやすいので、少年少女からご年配の方まで年齢や男女の制限はありません。それぞれが自分の体力に応じた強さの弓を使い、練習を始めることができます。晴雨にかかわらず、練習時間も道場の環境に合わせて調整することが可能です。

●「的」は 静止して動きません。

その「的」に当たるか外れるかだけでなく、射行(しゃぎょう:弓を射ること)として成功か失敗か、一本一本を味わいながら楽しむので、興味は深まっていくのです。

●弓を引く動作は「射法八節」という、八つの節に分けられます。

1つひとつを正しく組み立てることになってはいますが、それは別々の動きではありません。この八節を始めから終わりまで一連の動作で、一貫した流れのように、正確に行うことによつて的中率は高くなるのです。

●弓道の弓には照準機がついていません。

自分の体感だけを頼りにするので、周囲の状況や対戦相手の的中などに影響されたり、ちょっとした心の動揺で射術が狂ったりすることもあります。そのために、射法の基本動作を確実にし、密度の高い練習を日々重ねて的中率を高めることはもちろんですが、物事に動じない「不動心」を養い、淡々とした「平常心」で射行できるように、心の修練を重ねることが大切です。

●正しい射行は、正しい姿勢から。

背骨を伸ばし、胸郭を広げて左右の均衡を図り、気力を丹田(へソの下にあり、気力が集まる場所)に収め、精神の集中を持続する。そこから正確な中が生まれます。「自分」「弓」「的」の三者が一体となった瞬間、果敢に射放ちます。的中しない場合、すべての原因は自分にあるので、答えを求め、自己を見つめます。その繰り返しで、精神の修練に大きくプラスとなることも、弓道が愛され続ける魅力のひとつです。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立:2001年3月27日

事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL:070-5020-6459

会長:斎藤清貴 幹事:三宅一郎 会報担当:大橋高志 例会:毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか